

福岡県森林林業技術センター

Fukuoka Forest Research & Extension Center



林業普及指導員の活動トピックス 八幡農林事務所

竹林の適正管理で、たけのこの安定生産を目指す！

北九州小倉南区合馬地区では、「合馬たけのこ」の生産が盛んです。

しかし近年、たけのこの発生量が多い表年と、発生量の少ない裏年が一年ごとに繰り返され、安定生産が損なわれる状態が続いています。

そこで八幡農林事務所とJA北九、生産者団体、北九州市、県森林林業技術センターが協力し、その対策を検討しています。

平成23年は裏年に当たるため肥培、伐竹への施業呼びかけを早めに行い、さらに11月17日には、竹林の管理技術を普及するための伐竹等講習会を実施しました。



伐竹等講習会には25名が参加



伐竹選びの実習

< 伐竹等講習会の概要 >

- ・たけのこの表年、裏年の原因は、
台風及び夏場の雨量不足に加え、肥料不足が重なっていると推測される
- ・伐竹のポイントは、
 - ①古竹（6年目以上）は、伐ること
 - ②一升瓶より大きい直径の竹は、伐ること
 - ③ペットボトルより小さい直径の竹は、伐ること
 - ④250本/反を目指して、年々徐々に本数を減らしていく

（八幡農林事務所 八尋）